

# らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ

常木らくだ

『らくだ図書館（カクヨム版）』を公開しました！

相互リンクの焼き鳥様が、お洒落で素敵なバナーを作ってくださいだったので、さっそく使用しちゃいます。

どうもありがとうございました。

いつか受賞したら高級焼き肉をおごりますね。

(一生そんな日が来ないフラグ)



『らくだ図書館（カクヨム版）』

- ・文字数……50,715 文字
- ・エピソード数……54 話
- ・執筆状況……完結済
- ・作品ジャンル……小説投稿エッセイ

前は毎日 1 話ずつ更新していましたが、今回はすでにドーンと完結済みです。

やはり自分は公募ベースの人間なので、読者の反応を見つつ連載するよりも、完成した物を一気に提出する方が、作業の面で色々やりやすい部分が多く……。

内容はブログをまとめたような感じです。

小説投稿から発生する喜怒哀楽を、背伸びせずに等身大で語りました。

自分は皆様も充分にご存知の通り、落選ばかりの未熟者ではありますが、一投稿者によるリアルな経験談として、少しでも楽しんで頂ける部分があれば幸いです。

現在取り下げている『激烈ワナビ戦』も、公募の落選が確定したらまた掲載しますので、そちらの方もよろしく願い致します。

こんにちは、らくだです。

昨日ビーンズの1次発表がありました。

今後は6月1日発表が恒例になるんですかね？

だとしたら2か月で発表なので、めちゃめちゃ早い賞ですよ。

それはさておき、リンクはこちら。

通過された皆様はおめでとうございます！

【公式サイト】

<http://www.kadokawa.co.jp/beans/awards/>

- ・応募総数 353 作
- ・1次通過 20 作
- ・通過率 約 5.7 %

ビーンズは都道府県が公表されますが、今回は関西がゼロだったようで、関西勢としてちょっと寂しい感じですね。

あと発表リストを見ていると、やはり通過した作品のジャンルは、ファンタジーが大半のように見えますね。

一つだけ『ものすごい子犬に懐かれました』という、異彩を放っている作品があるので、どういう内容なのか気になってしまうところです。

(ものすごい子犬なのか、それとも、ものすごい懐かれたのか)

とにかく、そういうわけで。

例年通りのスケジュールなら、2次発表は今月下旬の更新だと思うので、楽しみに待ちたいと思います。

こんにちは、らくだです。

Web マガジン Cobalt にて、「小説を書くためのプチアドバイス」という連載が、今週からスタートしました。

毎週なのか隔週なのか毎月なのか、詳しい更新頻度は今のところ不明ですが、今後も続いていく企画のようです。

第1回の今回は、「小説とは、推敲を重ねて初めて完成するもの」。

当然ですが大切な話ですね。

該当コラムへのリンクはこちらです。

【小説を書くためのプチアドバイス】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/column-miura-shiwon/000248/>

簡単に言うと、

- ・応募要項を守ろう
- ・書式や体裁にも気を配ろう
- ・何度も読み返して推敲を重ねよう
- ・そうすることで自分の作品を客観視できる

もちろん、一番重要なのは小説の内容。

ただし応募原稿の体裁や推敲度合からも、その人がどの程度の情熱を持って投稿しているか、選者側は感じ取っていると書いてあります。

という感じの話題が、第1回の内容でした。

続く第2回の更新を楽しみに待ちたいところです。

こんにちは、らくだです。

ノベルの通過情報が待ち遠しいコバルトですが、それより先に、短編賞（第 182 回分）の結果が発表されました。

今回は入選作品 1 本 & 最終作品 3 本に加え、前回は載っていなかった、もう一步の作品のリストも載っています。

リンクはこちら。

お名前のあった皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/newface-award/no182/>

講評を読んできましたが、今回なるほどなーと思ったのは、「すべての批評を自分への指摘だと思って読むといい」というアドバイス。

これは、確かにそうですね。

もちろん他人の小説への講評なので、該当しない部分もあると思いますが、該当する部分が仮に一つでも見つければ、自分はその失敗をしなくて済むわけですから。

というわけで。

もともと講評を読むのは好きですが、単に読むだけでなく教訓を感じ取れるよう、しっかり注意しようと思いました。

それにしても、ノベルの結果が気になる最近。

いつ発表なのか見当もつきませんが、今後も毎日、更新チェックを続けようと思います。

こんにちは、らくだです。

カクヨムエッセイの件でバタバタしており、すっかり紹介するのを忘れていましたが、5月分のブログをパブで配信しています。

いつも通りアドレスを。

今回で通算 53 冊目になりました。

【らくだ図書館 (53)】

<http://p.booklog.jp/book/107403>

カクヨム版へのリンクも、もう一度貼っておきます。

らくだ図書館の記事 100 個分という、ボリュームミナ内容のエッセイです。

【らくだ図書館 (カクヨム版)】

<https://kakuyomu.jp/works/1177354054881059472>

カクヨム版の方については、日頃から小説投稿に対して思っていること・感じていることを、ギュギュッとまとめました。

自分のすべてが集約された内容ですし、仮にコンテストで落選してしまっても、参加記念に載せておこうと思います。

一方通常の『らくだ図書館』については、発表情報や日々の雑談などを中心に、今後もゆるい感じで続けていく予定です。

というわけで。

エッセイコンテスト参加中のカクヨム版、それから本家ブログ (ここ) とともに、これからもよろしく願い致します。

## バーミヤンの火鍋 - 2016.06.06 Mon

---

こんにちは、らくだです。

中華チェーンのバーミヤンが、火鍋の食べ放題をやっているという噂を聞いて、喜び勇んで行ってきました。

【バーミヤンの火鍋】

<http://www.skylark.co.jp/bamiyan/menu/syabusyabu.html>

スープの種類は麻辣・白湯・担々・昆布だし。

ここから2種類選べるということで、今回は麻辣と白湯を選択しました。

うーん、いい色ですね！



スープの味は見た目に反して非常にあっさり。

つけダレをたっぷりつけたら、ちょうどいい風味になります。

自分がよく食べている小肥羊の火鍋は、食べた瞬間に鼻からスパイスが抜けるような独特の刺激があるのですが、この火鍋にはそういうクセはありません。

ガチ火鍋マニアとしてはちょっと物足りない感じもしますが、逆に言うと香辛料が苦手な人でも、しゃぶしゃぶのような感覚で食べられる味付けだと思います。



結果的に、

- ・ 牛肉 6 皿
- ・ 豚肉 4 皿
- ・ 鶏肉 1 皿
- ・ 野菜の盛り合わせ
- ・ シメの麺

以上を完食！

それから烏龍茶が美味でした。

メーカーを知りたかったのですが、バーミヤン独自の抽出らしいです。



デザートは杏仁プリンアイス。

どこを食べても非常に甘くてまろやかで、ベタベタした口の中が一気に爽やかに。

というわけで、今回は火鍋の話題をお届けしました。

バーミヤンの火鍋の風味も、それはそれで魅力的ですね。

近所がないため西宮まで行きましたが、機会があればまた食べたいと思います。



こんにちは、らくだです。

先月のカクヨムユーザーミーティングについて、ラノベニュースオンラインで、レポート&インタビューが公開されました。

前に紹介した参加者レポートも秀逸でしたが、こちらの記事は写真入りなので、現場の雰囲気により伝わってくる感じです。

【ラノベニュースオンライン】

<http://ln-news.com/archives/37979/post-37979/>

このページに色々書いてありますが、自分が特に気になったのは、インタビューの最後の部分です。

「カクヨムは今まさに生まれたばかりの場所、それ故ユーザーに負荷をかけている面もあるが、最終的にはいい方向へ落ち着けるようにしたい」

原文の一部をまとめましたが、こんな内容が書いてあります。

確かにカクヨムオープン（第1回 Web コンテスト）の時は、色々なことが手探りの状態で、運営にもものすごく振り回されたような感覚がありました。

ただ、運営側もその事実をわかっているということに、今もカクヨムを利用中のユーザーとして安心したのが本音です。

わかっていなかったら打つ手なしですが、わかっていたら、きっと改善してくれるはずでもんね。

というわけで。

今後よりよい方向へ向かってくれるよう、ユーザーとして応援していきたいです。

こんにちは、らくだです。

小説家になろうの公式企画、「夏のホラー 2016」が、今年も開催される模様です。  
応募要項は7月7日発表予定らしいですが、一足早くティザーサイトが公開されました。

今回は公式設定が用意されているんですね。  
さっそくチェックしましたが、面白そうな内容だと思います。

以下、リンク。

【夏のホラー 2016】

<http://horror2016.hinaproject.com/>

ここに載っているアパートの間取りや住人の説明が、いかにも「いわくありげ」な感じで、見ているだけで非常に想像力が掻き立てられます。

どの部屋も怖すぎるわ！  
103号室だけ普通っぽいけど、そこが逆に不穏な感じも……。

というわけで、よからぬ事件が起こりそうな気配がプンプンします。

自分自身は小心者なのでホラーは書けませんが、コンテストが始まったら、参加作品を是非とも読んでみたいと思いました。

ちなみに公式設定の使用は必須ではなく、すでにオリジナルのホラー小説を準備していた場合などは、その作品で参加しても構わないとか。

とにかく最初に書いた通り、詳細発表は7月7日ということなので、続報を楽しみに待ちたいと思います。

こんにちは、らくだです。

バーミヤンの火鍋の記事を書いたところ、「次は火鍋エッセイを！」というコメントが届きましたが、火鍋で50,000字以上はさすがに無理や……。

とはいえ火鍋ネタが好評で嬉しいです。  
いつも反応してくださってありがとうございます。

さてさて。  
前置きとまったく関係ありませんが、はてなのHPで、カクヨムの裏話が公開されました。

以下、リンクです。

【カクヨムの作り方とは？】

<http://hatenacorp.jp/recruit/kakuyomu>

写真入りのインタビュー記事で、「こういう経緯でカクヨムを作りました」という、立ち上げ秘話が載っています。

カドカワ側の姿勢はブログなどから垣間見えますが、はてな側の思いを知る機会はまったくなかったので、改めて記事を読んでもみると新鮮な印象でした。

投稿者にとって直接有益になるような内容ではないですが、カクヨムのシステムに興味を持っている人であれば、最初から最後まで楽しく読めるインタビューかなと思います。

あと、今さら知ったんですが、はてなの本社って京都なんですね（汗）

それなら京都でもイベントやってくれないかな、なんて期待しつつ、今後のミーティングの情報を待ちたいと思います。

こんにちは、らくだです。

いよいよ 6 月 10 日ということで、電撃の総数が発表されました。

以下、詳しい情報。

せっかくデータを持っていますので、過去の数字と一緒に載せておきます。

第 16 回 (2009 年)	4,602 本
第 17 回 (2010 年)	4,842 本
第 18 回 (2011 年)	5,293 本
第 19 回 (2012 年)	6,078 本
第 20 回 (2013 年)	6,554 本
第 21 回 (2014 年)	5,055 本
第 22 回 (2015 年)	4,580 本
第 23 回 (2016 年)	4,878 本 < NEW! >

【公式サイト】

<http://dengekitaisho.jp/>

昨年比という意味では 298 本増えていますが、ウェブ応募が始まった割には、それほど伸びなかった印象ですよね。

一方なろうコンは 7,000 オーバーですし、電撃一強だった時代はすでに終わりつつあるのかな、なんて個人的に考えています。

(ええ、負け惜しみですとも！)

とにかく、そういうわけで。

自分は今年の参加を見送りましたが、電撃 1 次はワナビ業界最大の祭りですし、発表を楽しみに待ちたいと思います。

こんにちは、らくだです。

エッセイコンテストの参加数が、カクヨムブログで発表されました。

6月9日（木）9：00時点の集計なので、最終的にはもっと増えると思いますが、現段階のデータが公開されています。

リンクはこちら。

らくだ図書館も真ん中あたりに載ってますよ！

【公式ブログ】

[https://kakuyomu.jp/info/entry/essay\\_contest\\_list](https://kakuyomu.jp/info/entry/essay_contest_list)

このズラリと並んだリストを見て、「おお、盛り上がってるな〜！」と思ったのですが、カウントしたら285作品でした。

あ、あれ……？

予想したより少ないかも……？

エッセイを書かれる作者さんって、小説に比べると、やはり数が少ないんでしょうか。

エッセイ大好き人間としては、ちょっとだけ寂しい思いです。

とはいえ応募締切はまだ割と先（7月14日）ですし、これから参加される方々もたくさんいると思うので、新たなコンテストとして盛り上げて欲しいです。

あと、それから。

コンテスト参加作品のランキングは、来週火曜日からスタートするとか。

ランキング至上主義は好きではありませんが、読者の反応がよければ書き手としては励みになりますし、スタートの日を楽しみに待ちたいと思います。

突然ノート PC のキーボードが使えなくなって、仕方なく Windows10 にアップグレードしたんですが、結局直らなかった常木らくだですこんには！

ちくしょう……。

おかげでブログの更新が遅れたじゃないか……。

(サボった言い訳)

それはさておき、先日発表された電撃の応募総数について、相互リンクの焼き鳥さんが詳細なグラフを掲載してくれています。

過去 9 回分の応募数の推移、長編と短編の数、さらに長編割合が一目瞭然。

こういう詳しい情報の発信は、同じ投稿者として、本当にありがたい限りですね。

【第 2 3 回電撃大賞応募総数】

<http://yakitori-kongari.seesaa.net/article/438919333.html>

パッと見ると第 21 回で激減しているように見えますが、特に目立つのは短編の減少で、長編はそこまで深刻に減っているわけでもないようです。

その証拠に、今回の応募数は第 17 回とほぼ一緒ですが、長編作品の割合は当時よりもグーンと上がっている模様。

応募数自体が減少傾向にあるからといって、通過がラクになったとは言えませんし、厳しい戦いなのは今も一緒と言えそうです。

なにはともあれ、気になる 1 次発表まで、残りあと 4 週間。

今年は電撃ガールズスタイル最速説が有力ですが、どんな形で発表されるのか、ワナビ業界最大の祭りを見守りたいと思います。

こんにちは、らくだです。

KAI-YOU.net にカクヨム編集長のインタビューが掲載されました。

最近カクヨムの記事が多数出ており、その度にここで紹介していますが、今回はまた違ったインタビューです。

【カクヨム編集長インタビュー】

<http://kai-you.net/article/28006>

<個人的に気になった話>

- ・カクヨム編集部の人数は 4 人
  - ・KADOKAWA 外からもスカウトの可能性はある
- (ただしコンテスト作品に関しては協賛している編集部に優先権)
- ・受賞作品をどこから出版するかは、各レーベル編集部で調整している
  - ・将来的には何らかのコンテストを毎月開催していきたい

などなど初出の情報満載です。

特に KADOKAWA 外からのスカウトを禁止していないのは初耳でした。

それから、印象深かったのは次の文章。

『本文に対して最終的に責任を負わないといけないのはやはり作家さんになります。だからこそ、自分の名前を冠して作品を世に送り出すからには、作家さんには自分が本当に書きたい作品や読者に届くと思うテーマをきちんと選んで欲しいと思います』

ウェブ小説は分厚い壁がある従来の公募とは違い、誰の審査もなく簡単にアップできてしまいますが、だからこそ発信する内容には責任を持ちたいですね。

自分もサイトを利用する一員として、胸に刻み付けたいと思いました。

こんにちは、らくだです。

本日公開されたカクヨムエッセイコンテストのランキングですが、拙作『らくだ図書館（カクヨム版）』は6位という好順位でした。

これも応援して下さった皆様のおかげです。

月並みな言葉しか言えませんが、本当にありがとうございます。

【エッセイコンテストランキング】

[https://kakuyomu.jp/contests/essay\\_contest/applied\\_works](https://kakuyomu.jp/contests/essay_contest/applied_works)

応募要項を確認すると、読者選考終了（7月14日 23:59）時点で30位以内なら、最終選考へ進めるとか。

あれ……？

ひょっとして可能性あるんじゃね……？

というわけで。

小説では未体験の最終選考残留を目標に、ドキドキしながら結果を待ちたいです。

それから感想をくださった皆様、改めてありがとうございます。

作品に頂いたレビューは、一文字一文字、すべてが大切な宝物です。

普段のブログは基本的にこちらからの一方的な発信で、読者にどう受け止められているのか（そもそも受け止めている人はいるのか）全然わからないので、それがレビューとして返ってくるのは本当に嬉しい限り。

今回のコンテストの結果が落選でも、頂いた感想はすべて印刷してファイリングして、今後の創作活動の糧にしようと思っていますので、これからもよろしくお願いします。



こんにちは、らくだです。

ちまたでは評判の悪い Windows10 ですが、自分の PC は文字入力の反応速度が飛躍的に速くなり、執筆する上で非常に助かっている最近です。

さて本題。

近ごろカクヨムのお話ばかりですが、今度はメールマガジンがスタート。

カクヨムのメルマガといえば、正式オープン前にも実施されていたと思いますが、それとはまた別みたいですね。

詳細は下記参照です。

【公式ブログ】

<https://kakuyomu.jp/info/entry/2016/06/15/160517>

- ・登録無料
- ・毎月第1・第3木曜日の隔週配信
- ・メルマガスタートは6月23日(木)予定
- ・初回配信ではコンテスト受賞作の情報を発表
- ・購読者限定のイベント募集や連載記事など盛り沢山

というわけで。

今後のイベントはメルマガ登録が必須となるかもしれません。

ちなみにデフォルト設定は「受け取らない」なので、すでにアカウントを持っている場合、設定のページで「受け取る」へ変更する必要あり。

自分もさっそく変更したので、初回配信で届くらしい受賞作の発表を、楽しみに待ちたいと思います。

## 火鍋ランチの会 - 2016.06.16 Thu

---

こんにちは、らくだです。

今日は創作仲間のりんりんさんと、火鍋をたらふく食べてきました。

カメラの準備を忘れた為、手持ちの iPhone3G で撮影。

そのせいで写真が暗めですが、火鍋自体は美味しかったです。



うまい肉！

そして昼間からビール！

それだけでも十分に幸せですが、食べながら投稿の話がたくさんできて、それが非常に楽しかったです。

調子に乗ってビールを追加したら、凍ったジョッキで出てきました。



自分は毎日のように投稿ブログを書いているわけですが、それはある意味バーチャルな活動なので、実際に創作仲間さんと対面して話す機会は本当に貴重です。

もちろんネット上の交流も好きだし大切ですが、リアルに投稿の話をするのはとても刺激的で、普段とはまた違った発見や面白さがありました。

りんりんさん、今日はありがとうございました！



ところで、食べながら「ノベル大賞の発表遅いねー」なんて話をしていたのですが、家に帰ったら明日6月17日（金）発表という公式情報がツイッターで出回っていました。

というわけで。

自分は落選の可能性が高いですが、明日はその話を書こうと思います。

こんにちは、らくだです。

公式ツイッターで予告されていた通り、ノベル大賞の通過発表がありました。

自分は残念ながら1次落ちでしたが、また次なる目標へ向かって、気持ちを切り替えようと思います。

以下リンク。

通過された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://orangebunko.shueisha.co.jp/novel-award/elapsed>

それにしても通過数の多さにビックリですよ。

コバルト文庫とオレンジ文庫が共通募集になったことで、電撃に MW 枠が追加された時のように、おそらく応募総数が激増したのだらうと思われます。

きっとそうさ……。

だから落ちても仕方がないのさ……。

(見苦しい言い訳)

ちなみに今後の予定は、

- ・7月8日(金)3次発表
- ・7月29日(金)最終発表

という具体的な日付が告知されました。

自分はすでに戦線離脱しましたが、お名前を知っている方々も通過していることですし、今後の発表を楽しみにしたいです。

昨日はノベル大賞の発表でツイッターが盛り上がりましたね。

まあ自分は落選して盛り上がれなかったわけですが、それはさておき、ほぼ同時にビーンズの 2 次結果も更新された模様です。

通過された皆様はおめでとうございます！

【発表ページ】

<http://www.kadokawa.co.jp/beans/awards/>

- ・ 応募総数 353 作
- ・ 1 次通過 20 作 (約 5.7%)
- ・ 2 次通過 8 作 (約 2.3%) **NEW!**

1 次リストで気になっていた、『ものすごい子犬に懐かれました』が通過していて、テンションが上がりました。

このまま受賞まで行くように、心の中で応援しようと思います。

それからウェブ拍手をくださった、ねこまんじゅう様、ごんべ。様、いつも応援ありがとうございます。

おかげ様でノベルの発表に気付きました。

感想や応援はもちろんのこと、情報提供は、いつも非常にありがたいです。

とにかくまあ、そういうわけで。

自分が発表待ちをしている賞は、えんため大賞のみになりました。

公式ブログには 7 月と書いてありますが、そう遠くはないうちに結果が出ると思うので、その日を楽しみに待ちたいと思います。

こんにちは、らくだです。

カクヨムブログで告知がありましたが、今度はラジオがスタートするようです。

詳細は下記リンク先に掲載。

前にも単発のニコニコ生放送はありましたが、今度は「第1回」と書いてありますし、このままレギュラー番組化するみたいですね。

[【カクヨムをよりたくさんの人に知ってもらうための Web ラジオ「カクヨム放送局」がはじまります】](#)

「カクヨム放送局」

日程：6月29日（水）22:00 開始予定

出演者：羽多野渉、高橋李依、萩原猛（カクヨム編集長）

概要：カクヨムに投稿された作品情報や、出演者が気になる作品の紹介、フリートークなど

URL：<http://live.nicovideo.jp/watch/lv266662084>

カクヨムどうこう以前に、パーソナリティが羽多野さん&高橋さんという点にテンションが上がった、ガチ声優オタクは私です。

いやでも、こういう取り組みがこれから充実していくと、従来の書き手以外にもカクヨムの存在をアピールできそうな感じですよ。

インタビュー等の発言を見ても、編集側はそれを意図的に狙っているようですし、ラジオも盛り上がって欲しいところ。

時間的にオンタイムで聴けるかは微妙ですが、ひとまず第1回はタイムシフトを設定したので、放送が終わったら感想を書きたいと思います。

ブログの右上にひっそりとアクセスカウンターがあり、マウスを置くと直近 1 週間の訪問数が見られるんですが、コバルトノベル大賞落選の日に PV 倍増しててワロタ。

なんやねん！

そんなに常木らくだの落選顔が見たいんか！

皆さん確実にド S ですよね。

いやもう本当にありがとうございます。

ところでカクヨムのエッセイランキングの変動を、日々チェックしているわけですが、海外生活のエッセイが予想以上に多いような気が。

そのテーマ需要あるんだ……！

それなら自分も書けばよかった……！

今回載せた『らくだ図書館カクヨム版』にも、シンガポールの話は書いたんですけどね。

ただしエッセイのテーマ上、そちらには投稿に関する事件だけを載せたので、それ以外のネタはまだ多数。

というわけで、今回は投稿エッセイに専念しましたが、これからまた第 2 回や第 3 回のコンテストがあるようなら、その時は海外生活の珍体験エッセイを書きたいなと考えております。

いや、しかし……。

最近ブログとエッセイばかりで、ちっとも小説を書いてない気が……。

まあ小説のこれからの活動については、応募中のえんための結果が出てから、今後どうするか考えようと思います。

こんにちは、らくだです。

第29回ファンタジア大賞（後期）の3次発表がありました。

1次や2次の情報を記事にしていなかったのですが、今さらではありますが、通過数や通過率を改めてまとめておきます。

お名前のあった皆様はおめでとうございます！

【発表ページ】

[http://www.fantasiataisho.com/contest/29th\\_first.php](http://www.fantasiataisho.com/contest/29th_first.php)

- ・ 応募総数 539 本
- ・ 1次通過 112 本（約 20.8 %）
- ・ 2次通過 36 本（約 6.7 %）
- ・ 3次通過 10 本（約 1.9 %） **NEW!**

4次については7月20日発表予定らしいです。

日付が明確なのは投稿者にとってありがたいですね。

そして、そして。

ファンタジア大賞と言えば、しばらく前に発表された、短編の賞が気になるところ。

【短編・応募要項】

<http://www.fantasiataisho.com/guideline/short.php>

応募締切は2017年2月でまだかなり先ですが、短編ラノベを投稿できる賞は現状とても少ない（電撃くらい？）ですし、新たな受け皿として盛り上がって欲しいです。

以上、今回はファンタジア大賞の話題でした。



こんにちは、らくだです。

第1回カクヨム Web 小説コンテストの結果が発表されました。

受賞された皆様はおめでとうございます！

【発表ページ】

[https://kakuyomu.jp/contests/kakuyomu\\_web\\_novel\\_001/result](https://kakuyomu.jp/contests/kakuyomu_web_novel_001/result)

- ・ 応募総数 5,788 作品
- ・ 最終選考 185 作品（約 3 %）
- ・ 受賞作品 26 作品（約 0.4 %）

各作品に刊行予定のレーベルが載っていますが、割とバラけているように見えますし、女性向けの作品も意外と多いような印象でした。

カクヨムはせっかく新しい小説掲載サイトなわけですし、特定のジャンルに偏ることなく、今後も多様な作品が集まる場所になって欲しいです。

あと、それから。

正確な応募数を知りませんでした、なんと 5,788 作品もあったんですね。

ただ今回のコンテストは初回だけあって、とりあえずエントリーしただけの作品も多かったのもので、今後この数字が順調に増えていくかどうかは、カクヨムの運営次第なのかなと思います。

それから、第2回の開催も何気に告知されました。

自分が参加するかどうかは日程次第ですが、前回の反省で色々な点が改善されているはずですし、応募要項の発表を楽しみに待ちたいです。

こんにちは、らくだです。

近ごろ中途半端な天気が続きますね。  
早く梅雨明けして本格的な夏になって欲しいです。

さてさて。  
コバルトブログが更新されましたが、気になる情報があったのでご紹介。

【コバルト編集部ブログ】  
<http://ameblo.jp/cobalt-shueisha/entry-12173942890.html>

このページの次回更新予定に、「あらすじ大賞応募受付スタート」という一文が、サラリと載っておりました。

あらすじ大賞？  
そんなのあったっけ？

と思って検索しましたが、コバルトの公式サイトにはまだ情報が載っておらず、新しい企画のようです。

既存作品のあらすじを書く賞なのか、オリジナルのあらすじを送る賞なのか、詳細は今のところ不明ですが、どういう新企画なのか期待大ですね。

それから投稿新企画第1弾として開催された、「桑原水菜プロデュース」の結果発表もあるようなので、そちらの更新も楽しみにしたいところです。

以上、今回はコバルトブログの話題でした。

次回の更新は7月1日（金）予定なので、あらすじ大賞の詳細が判明したら、また改めて紹介したいと思います。

こんにちは、らくだです。

6月14日に発表された、MF4期の1次通過リスト。  
そこに81歳の投稿者さんがいるということで話題になっています。

今さら確認したのですが、たしかに噂は本当でした。

いやー！  
素晴らしいですね！

【発表ページ】

<http://www.mediafactory.co.jp/bunkoj/award/result/#forth>

- ・応募総数 489本
- ・1次通過 191本
- ・通過率 約39%

80代でMFJに投稿しようとするガッツも、実際に1次通過する実力も、色々な意味で尊敬してしまいます。

それはまあ極端な例にしても、今回は30代～50代の通過者さんも結構いますし、投稿者の年齢層が以前に比べて多様化しているような気が。

年齢にとらわれず好きな行為に打ち込めるって、とても素敵なことだと思いますし、今後もこの流れが続いて欲しいと願っています。

同年代の方々が頑張っていると、こちらにも励みになりますからね。

自分もどうせ落選だからと腐ったりせず、日々の創作活動に対して、誠実に取り組んでいこうと思いました。

こんにちは、らくだです。

先日コンテストの結果が発表されたばかりのカクヨムですが、コンテスト非参加の作品からも書籍化が決まったようです。

詳細は下記ブログに記載。

[【ユーザー投稿作品『幼馴染の自動販売機にプロポーズした経緯について。』が書籍化されます】](#)

発売日：2016年8月10日

定価：本体1,200円＋税

判型：四六判

レーベル：カドカワ BOOKS

てっきり文庫かと思いましたが、1,200円で四六判ということは、単行本での刊行のようですね。

書き下ろしエピソードが載るとはいえ、ウェブ上で無料で読める作品をこの価格で販売するなんて、編集者の自信のほどが感じられます。

それにしても、今まで字だけだったウェブ小説に、こうして素敵なイラストがつくのは、なんとなく感慨深いものがありますよね。

自分の小説もいずれこんな風になったらいいな〜と、サイト利用者の一人としておおいに夢が膨らみました。

そうはいつでも、載せる作品がなければどうしようもないので、まずは目の前の執筆を地道に頑張ろうと思います（汗）

こんにちは、らくだです。

第5回集英社みらい文庫大賞の結果発表がありました。

ラノベの賞ではありませんが、児童文学の投稿者さんも結構このブログを見てくださっているようなので、リンクを紹介しておきます。

【発表ページ】

<http://miraibunko.jp/grandprize/grandprize5-novel-result.html>

このページに受賞者の写真が載っているのですが、しっかりとした大人の方々に、なんとなくホッとした(?) ような気分です。

ライトノベルの賞ですと、10代~20代前半の通過者・受賞者が比較的多いですが、焦る必要はないですね。

小説執筆はその気があれば一生続けられる行為ですし、自分自身も、長い目で誠実に取り組んでいきたいと思いました。

あとそれから、同ページにコバルト短編のような座談会形式の選評が載っているので、オススメです。

読んで感じたのは、

- ・ 中途半端はよくない
- ・ 何を書きたいか明確に伝えるのが大事
- ・ それができれば作品全体の印象がよくなる (読みやすくなる)

ということ。

頭ではしっかり理解していても、自分で実践するのはなかなか難しいので、気を付けようと思いました。

常木らくだです。

今回は久し振りの宣伝記事です。

現在カクヨムにて、『らくだ図書館（カクヨム版）』を公開中。

このブログとは違う書き下ろしで、エッセイコンテストにも参加中ですので、応援していただけると嬉しいです。

【らくだ図書館（カクヨム版）】

<https://kakuyomu.jp/works/1177354054881059472>

ランキング初日は6位でしたが、それから非常にテンポよく順位を落とし、現在は17位となっております。

最終選考の条件は30位以内……。

このまま無事に残れるのだろうか……。

それはさておき、皆様のレビューには本当に感謝していて、その嬉しさはとても言葉にはできません。

どのレビューも大切な宝物ですが、カクヨム版だけでなく本家のブログ（ここ）を評価してくださった方がいて、それには思わず胸が熱くなりました。

普段は手応えが全然わからないまま書いているので、この場所を必要としている読者がいるんだと文字で示してもらえると、書き手として本当にパワーが湧いてきますよね。

（その割には更新をサボりがちですが……）

とにかくコンテストの結果に関わらず、これからも「らくだ図書館」は地道に活動を続けますので、末永くお付き合い頂ければと思います。

【今週のブログテーマ】 今回のテーマ：【「叶えたい夢や願い事は何か？」】

というわけで。

今週のブログテーマは、七夕にちなんで、夢についてがお題です。

自分の叶えたい夢は、今さら言うまでもないですが、作家になることです。

どこかしの新人賞で受賞して、本を出したいと願っています。

まあでも、真面目な話をすると、夢って楽しいばかりじゃないですよ。

そのせいで泣いたり苦しんだり腹が立ったり、落選しまくる自分に嫌気が差したり、つらい瞬間も本当にたくさん経験しました。

とはいえそれらを乗り越えてきた中で、投稿者としてだけでなく、人間としても成長できたと思います。

そもそも作家になりたいという夢がなかったら、イヤな思いをしない反面、それらの成長も全部なかったことになるわけで。

そんなのって想像したら絶対に寂しいですし、上手くいかない投稿生活もそれはそれで誇りに思っているので、やっぱり夢はいいものじゃないでしょうか。

コホン、ちなみに。

こういう投稿に対する様々な感情を、カクヨムで公開中の『らくだ図書館（カクヨム版）』に載せましたので、そちらも是非よろしくお願ひします。

【らくだ図書館（カクヨム版）】

<https://kakuyomu.jp/works/1177354054881059472>

とまあそんなわけで。

真面目な話題に見せかけて、結局最後は宣伝オチでした。

こんにちは、らくだです。

カクヨム放送局を視聴したので、簡単なレポートを書いてみます。

\*\*\*\*\*

- ・ 6月29日（水）22:00 開始
- ・ 放送時間 36:09
- ・ 視聴者数 2,973 人
- ・ 出演者は羽多野渉さん、高橋李依さん、萩原猛（カクヨム編集長）さん
- ・ 画像は基本的に静止画でたまに小説紹介ページのスクリーンショットが入る

<番組の流れ>

- ・ 声優さんの自己紹介
- ・ 視聴者はカクヨムを知っているか、ニコ生機能を使ったアンケート  
⇒知っている（56.0%）、今回初めて知った（32.8%）、知らない（11.2%）
- ・ 書籍化決定作品の紹介
- ・ 定期コーナー「今月の気になる!？」  
⇒声優さんが気になった作品を取り上げ、くじで引いたお題に基づいて、キャッチコピーを読み上げるコーナー。高橋さんは「ブリブリのアイドルっぽく」、羽多野さんは「息たっぷり多めに」というお題を引き、それぞれの奮闘ぶりに盛り上がる。
- ・ 声優さんに選ばれた作品に、サイン色紙をプレゼント
- ・ 開催中のコンテストの宣伝（HPで告知済みの内容）

\*\*\*\*\*

全体的な印象としては、カクヨムをよく知らないライト層に、ウェブ小説の面白さや楽しみ方を発信していく……という感じの番組です。

すでにガンガン利用しているガチユーザーにとっては、特に目新しい情報はありませんでしたが、声優さんのトークが面白くラジオとして楽しめました。

（羽多野さんの伏字にできていない伏字読みがツボだった……）

第2回は7月28日（木）らしいので、次回も視聴しようと思います。



こんにちは、らくだです。

小説の賞ではありませんが、コバルトイラスト大賞の結果が更新されたので、発表ページのリンクを紹介。

受賞された方はおめでとうございます！

【発表ページ】

[http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/illust\\_prize/index.php](http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/illust_prize/index.php)

- ・ 入選 1 本
- ・ 佳作 12 本
- ・ もう一步の作品 24 本

雑誌コバルトがウェブ化した影響で、今後はイラスト大賞の結果もインターネットで見られるようになって、読者としてはありがたい限りです。

ちなみに今回入選された宣教師ゴンドルフさんは、コバルトイラスト大賞の常連さんであると同時に、電撃イラスト大賞でもお名前をお見かけしました。

(ペンネームのインパクトが強すぎて覚えていた)

絵と小説で活動ジャンルこそ違いますが、長く投稿を続けた上で夢を掴み取ったんだなあ……と思うと、こちらにとってもいい刺激になりますよね。

そんなコバルトイラスト大賞ですが、現在は記念すべき第 60 回を募集中。

【イラスト大賞・応募要項】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/illust-award-apply/>

自分は絵を描きませんが、通過作を見るのは楽しいですし、早くも次回が楽しみです。